

令和7年度 学校評価（記述欄まとめ）

※自由記述から一部抜粋

【学校関係者】

○組織運営

【質問項目】

- ・学校は、「出会い、学び、変わる」児童と未来をつくる学校づくりの具現化に向け、教職員全体で組織的に取り組んでいる。
- ・学校は安全教育の推進と事故防止に努めるともに、事故発生時に迅速に対応している。
- ・学校は組織的に環境美化に努めている。

- ・概ね取り組みはできていると思う。
- ・絶対的に意識しているのは伝わってくるからです。
- ・学校を訪れた時の様子や、先生方のお話を伺ってそう感じました。
- ・校長先生をはじめ教頭先生からの説明を受けてとても努力されていると感じた為。
- ・協議会の中で学力向上研修を実施した際、若手ベテラン問わず活発な意見交換がされていたことがとても印象的だった。躊躇せず意見を出し合える組織だと感じた。
- ・先生方のお話を聞いたり、学校の様子を見たりする印象から、いつもそう感じています。

○学力向上

【質問項目】

- ・学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう授業を開催している。
- ・学校は各教科等の指導において、伝え合う活動を工夫した授業を開催し、児童の表現力を高めている。
- ・学校は生活科、総合的な学習の時間及び特別活動を中心に、体験活動を充実させていく。
- ・学校は、タブレット端末等 ICT を活用した授業の充実に努めている。
- ・学校は、児童が意欲的に学習に取り組めるよう授業を開催している。

- ・授業参観の様子及び校長先生、教頭先生の説明から判断いたしました。
- ・タブレットはより軽くなって、より便利に活用できるようになると良いと思います。
- ・金融教育は高学年になったら、年一回は体験してほしい。継続的に。
- ・保護者の回答の中の「分からぬ」が一定数いる項目の取り組みと成果の発信に更なる工夫を。
- ・子供からの話を聞いてそう感じました。
- ・授業の様子を見させていただいた時の感じや、先生方の説明よりそう思いました。
- ・授業の様子を拝見したり、先生方の説明を聞いたりしてよりそう認識しました。
- ・じっと席に座っているだけでなく、座席を移動したり、ゲーム要素があったり、児童が授業に参加する工夫が感じられる。三小だけの問題ではないが、タブレット活用は紙とデジタルのハイブリッドでより学習意欲や知識が高まる工夫が必要。
- ・先生との座談会等や授業参観で感じました。「まあまあ」に選んだ項目は、まだまだ先生の個人差があると感じたからです。

○豊かな心の育成

【質問項目】

学校は、児童が友達や教職員、来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。

学校は、児童がいじめをすることなく助け合って学校生活を送れるよう、学年学級づくりに取り組んでいる。

学校は、親身になって相談しやすい体制をつくるとともに、問題が生じた際に迅速に対応している。

学校は教職員自ら手本となり、児童に対して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導を行っている。

- ・児童の様子及び校長先生、教頭先生の説明内容から、上記のとおり判断しました。
- ・皆さん挨拶きちんとしてくれていつも嬉しいです。
- ・概ね取り組みはできていると思う。
- ・学校に伺った時に子どもと教員との関係の良さを感じます。
- ・学校を訪れた時、挨拶をしてくれる児童もたくさんいるが、恥ずかしいのか挨拶できない児童もまだいる。
- ・いじめの問題など色々あると思いますが、校長先生や担任の先生などが努力されていると思われる為。ただ先生の違いによって対応に差がないようにしてもらいたい。
- ・三小だけの問題ではないが、目に見えるいじめはもちろんだが、デジタルなどバーチャルな空間でのいじめ、じゃれ合い・イジリなど、判断が難しい場合の被害者の変化を察知する工夫など、事例や情報の共有が重要。

○心身の健康

【質問項目】

学校は児童の体力向上に向け、体育や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導にあたっている。

学校は、計画的に健康教育を推進している。

- ・学校教育課での様子を見て、そのように感じる。
- ・児童の様子及び校長先生、教頭先生の説明内容から、上記のとおり判断しました。
- ・概ね取組はできていると思う。
- ・特に問題はない感じる。
- ・給食を通して行う食育もとても大切だと感じました。

○保護者・地域との連携

【質問項目】

学校はPTA活動や地域活動に关心をもち、保護者及び地域と連携協力している。

学校は教育活動の様子や、成果、課題等について定期的に情報提供している。

学校は学校応援団組織を充実させるとともに、保護者及び地域と連携した教育活動を展開している。

学校は、令和7年度より本格実施となった小中一貫教育について保護者及び地域に情報発信するなど、理解促進のための取組を進めている。

- ・おやじの会やPTAにご協力いただきありがとうございます。
- ・会議でも話が出たように、写真などを含めてわかりやすく、こまめに情報発信していくと良いのかなと思います。
- ・一貫教育については分からぬが一定数いるため、取り組みと成果の発信にさらなる工夫を。
- ・教職員の方と話していく中で共感出来る事が多く地域連携は絶対に必要だと思います。
- ・地域の様々な団体と協力して色々な事業をしていて、感心している
- ・積極的に参加する保護者にはよく情報が届きますが、参加をあまりしない保護者に情報が届くための工夫がもう少し必要かと思います。

【保護者】

- ・児童が怪我をしたとき、以下の点を意見として提出させていただきます。
 - ①怪我をした生徒への対応について怪我が発生した際、生徒への初期対応や状況確認などを迅速かつ適切に行っていただける体制を整えていただきたいと考えております。
 - ②保護者への連絡・対応について保護者へ連絡をする際、会議中であることなどを理由に電話が取り次がれない状況がありました。緊急性が高い場合には、速やかに担当の先生へ連絡が届くような対応をお願いしたいです。
- ・他の学校に通われてる知人に志木3小楽しそうとよく褒められます。おやじの会のイベントが子供たちはとても楽しいようです。校長先生、教頭先生も顔を出してくれていると聞いております。漢字への意識が2年生の時から随分良くなりました。それを次の先生も受け継いで実施してくれて、やる気が継続できております。休み時間もクラスのみんなと先生で遊ぶこともあるようで毎日楽しそうです。ありがとうございます。
- ・項目にもありますが、担任の先生によるところがとても大きいと思います。
- ・担任の先生はいつも漢字ドリルやテストに褒め言葉を書いてくださってとても感謝しています。お忙しい中ありがとうございます。
- ・子どもは学校生活を楽しんでいます。ありがとうございます。登下校の旗振りのみなさまにも感謝を伝えたいです。
- ・教職員の皆様、いつもご指導と学校運営をありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。
- ・学校の問題ではありませんが、さくら連絡網は、1日に1回しか連絡できない、先生からは返信しかできないなど、自由度が低く不便なので改善していただきたいです。
- ・全体的に考えると、子どもたちが楽しく安心して学べる学校であり、保護者も、安心できる学校だと感じています。『これはできて当たり前』みたいな声かけや、子どもたちが嫌な気持ちになるような言われ方には疑問を感じます。
- ・学習面はサポートしてはくれているが、学習の出来がいい子だけが表だっている気がする。しっかり、見てくれる先生はもちろんいるので全てではないです。
- ・いつもありがとうございます！！教頭先生がとても頑張ってくれているので、組織としてまとまっているように思います。どの子もまだ幼い年齢です。クラブ活動、登校班を含めて、頑張ってしっかりとしている子に善意を求め過ぎないよう守って欲しいです。生徒指導もありますが、公平な対応を取る先生方、嫌な役回りもあると思うのですが、子供は助けられています。これからもよろしくお願いします。
- ・放課後教室以外に土曜に学校で学習教室を設けるなどの工夫があると良いと思う（教職員負担軽減はしつつ地域協力など）。
- ・同じ学年での授業内容や指導も、クラスによってバラツキがあると思ったので授業の進め方や使う教材道具は、ある程度揃えて欲しいと思った。
- ・いつもありがとうございます。低学年のバス利用行事（生活科見学）を復活させていただきたいです。年間行事の日程はあまり変えないでいただきたい（秋の学校公開）分かり次第の共有でいいと思います。学年費の回収方法をまた引き落しにしていただきたいです。
- ・漢字のキラキラさんをとても喜んで、いつも目標にしてます。色々な分野で得意な物を表彰頂けると、自信がついて頑張れると感じました。下校時の5コースの横断歩道横断がスマーズに行かないことが多く、事故を心配しています。

学校評価へのご協力、ありがとうございました。いただいたご意見をもとに協議を行い、次年度以降の教育計画を改善してまいります。

学力向上について

- ・「学力の向上」に関する質問項目については、肯定的なご意見が上昇傾向にあるものの、「タブレットの活用」に関する項目にやや課題が見られました。今後、ますます情報モラルに関する授業を充実させつつ、低学年からの系統的なタブレット活用を促進してまいります。
- ・各学年の授業で使用する教材・進度や指導方法につきましては、児童の実態を十分に考慮したうえで決定していることから、学級ごとに多少の差異があることは想定されますが、学習内容の着実な定着が図られるよう、今後も学年間でしっかりと情報共有をし、対応してまいります。

心身の健康について

- ・「心身の健康」については、肯定的な意見が上昇傾向にあります。今年度は、週1回のフレッシュタイムだけではなく、課題のある児童を対象としたボール投げ教室、体育委員児童を主体的とするマット教室、外部講師を招いた出前授業も実施いたしました。引き続き、家庭との連携を図りつつ、日常的に児童の体力を高められるような手立てを講じてまいります。

豊かな心の育成について

- ・「豊かな心の育成」については、肯定的な意見が上昇傾向にあります。
- ・今後はますます、全ての児童が安全安心な学校生活を送れるような取組を継続する必要があります。よりよい学校生活を自らの手で創り上げられるよう特別活動（学級活動等）の充実を図ってまいります。

保護者・地域との連携協力について

- ・「保護者・地域との連携協力」については、肯定的な意見が上昇傾向にあります。
- ・「小中一貫教育」につきましては、さらなる情報発信の必要性があると認識しております。いろはさくら学園（志木第三小・志木小・志木中）の取組に関する情報を随時公開し、保護者の皆様に取組内容が伝わるようにしてまいります。

安全教育と事故防止について

- ・危機発生時の対応における定期的な訓練（地震・火災・引き渡し）及び日常的な安全点検等、計画的に実施することができました。しかしながら、常に新たな視点で危機を予測していくことが重要であることから、これまでの訓練方法の見直しも適宜必要であると認識しております。今後も児童が日々安心・安全に学校生活を送れるように取り組んでまいります。
- ・通学班については、集団による登校がセーフティネットとしての役割も担っていると認識しております。今後の通学班登校のあり方につきましては、他校の状況や先行事例等を注視しながら、今後の通学班のあり方については慎重に判断してまいります（令和8年度は通学班登校となります）。